

第1回四日市港港湾脱炭素化推進協議会 開催結果概要

1 日時

令和5年11月14日（火） 13:30～15:30

2 場所

四日市港ポートビル2階大会議室（WEB併用）

3 議事概要

- ・規約の改定及び委員の新規加入について、委員に承認いただいた。
- ・事務局から、協議会概要（スケジュール、推進体制等）、「四日市港港湾脱炭素化推進計画（骨子案）」について説明した。
- ・また、骨子案に記載のある港湾脱炭素化促進事業について各実施主体等から説明があった。
- ・四日市市、四日市港管理組合の最近の取組内容について報告した後、計画骨子案等について意見交換を行った。

4 主な意見概要

四日市港港湾脱炭素化推進計画（骨子案）等について

- ・短中期、長期のKPIの達成に向けて、一年単位でというのは難しいと思うので、何年か毎の目標達成に向けたパーセンテージのような目標値を設定し、そこに向かって全員で進んでいくとよいのではないか。
- ・四日市港脱炭素化推進計画は、企業の皆様の協力、提案によって積極的な計画が盛り込まれていると思う。四日市港がサステナブルに発展していくため今後の計画の進展には非常に期待する。
- ・計画骨子案では、ブルーカーボンについて言及されているが、ぜひ四日市港でもJブルークレジットの認証・発行を目指すという視点で取組に臨むことを期待する。
- ・四日市の全体として官民の足並みの揃った印象を受けている。今後も官民一体となって、ターミナル内だけではなく、港湾全体として取り組んで欲しい。
- ・港湾全体としてカーボンニュートラルを達成することが目的ではなく、四日市港の発展の手段として欲しい。事務局から提案のあった脱炭素化推進地区制度の活用は先進的で積極的な姿勢が伺える。そういった新しい見解を長期構想検討委員会等にも繋げて行ってほしい。

脱炭素化推進地区の指定に合わせた背後圏産業ニーズへの対応について

- ・ 四日市港では、半導体産業が地域の基幹産業にもなっているにもかかわらず、例えば、半導体産業で用いられる石油類や高圧ガス等の荷捌き場や保管倉庫がコンテナターミナルの近隣に無いなど、四日市港の分区がこの地域の産業構造の変革に対応しきれておらず、背後圏産業のニーズに機能的に対応できていない状況にある。このため、脱炭素化推進地区と同様に土地利用規制の柔軟な対応が出来ないものか是非とも検討いただきたい。

⇒事務局対応

- ・ 四日市港の将来像やその実現に向けた取組の方向性等を検討している、四日市港長期構想検討委員会の場合において、議論させていただきたい。

以上